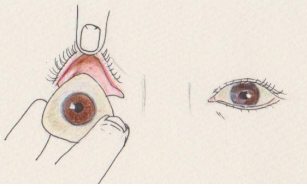
義眼の取扱方法

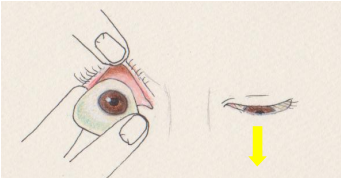
有限会社　アツザワ・プロテーゼ九州
ＴＥＬ　０１２０－４６４９４６
住所　福岡市博多区博多駅前４丁目３１－
グランピア博多駅前８０２
HP　http://art-eye.jp/

義眼の入れ方・外し方

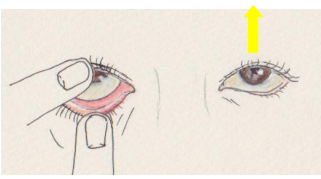
義眼を入れる



義眼を利き手の親指と人差し指で左右からはさむようにして保持します。空いている手の指で上瞼をまつ毛の生え際からしっかりと持ちあげます。

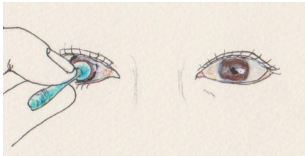


目線を下に向けて、義眼の上部を上瞼の内側に差し込みます。義眼が十分挿入できたら、その位置から義眼が下に下がってこないように指で保持します。

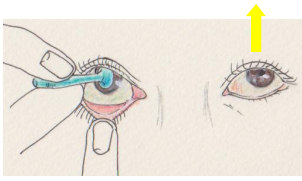


目線を上に向け、上瞼を押さえていた指を離し、その指で下瞼を押し下げて義眼の下端部を下瞼の内側に挿入します。軽く瞬きをして義眼が正しく挿入できたか確認してください。

義眼を外す



スポイト先端を軽く水で濡らします。吸盤部分を義眼の表面に押しつけます。



目線を上に向け空いている手の指で下瞼を押し下げながら義眼下端部分から引き抜きます。

義眼のお手入れ

義眼は毎日取り外して朝・夕の２度洗浄をして下さい。
また、毎日洗浄していても表面の微細な傷や汚れを取り除くため、
１年に１度を目安に義眼師による義眼の研磨をご依頼いただくことをおすすめします。

① 石鹸で手を洗って流水でよく流します。
② 清潔な手の平に義眼を乗せ、
ハードコンタクトレンズ用洗浄液を数滴たらします。
③ 義眼の裏表両面を順番に指の腹でくるくると円を描くようにして擦り洗いをします。
④ 流水で洗浄液の滑りが無くなるまで完全に洗い流します。
⑤ 濡れたまま義眼を装用します。
義眼表面が傷ついたり繊維が残ったりすると装用感の悪化の原因となる可能性がありますので、タオルやティッシュペーパーなどでは拭かないでください。
また、洗浄後すぐ装用しない場合は紛失の原因となりますので
ティッシュに包んで保管せず、必ず専用のケースに入れて保管して下さい。

！　義眼の破損の原因となります。絶対に行わないでください

- **熱湯消毒、煮沸消毒などの高温**
- **アルコールやベンジンなどを用いた消毒**
- **義眼の改造**